IGARASHI TAKENOBU Archive

KIT 金沢工業大学

NEWS RELEASE

2025 年 9 月 19 日

2025 年度五十嵐威暢アーカイブ

企画展 ON THE GRID 後期開催

令和 7 年 9 月 22 日（月）～令和 8 年 1 月 18 日（日）

場所：金沢工業大学ライブラリーセンター五十嵐威暢アーカイブ

金沢工業大学五十嵐威暢アーカイブ（以下アーカイブ）では、2025 年度企画展「ON THE GRID」後期を令和 7 年 9 月 22 日（月）～令和 8 年 1 月 18 日（日）の期間開催いたします。

2025 年度　五十嵐威暢アーカイブ企画展　「ON THE GRID」後期

開催期間：
令和 7 年 9 月 22 日（月）～令和 8 年 1 月 18 日（日）
常設展示「五十嵐威暢ー「環境」を求めて」も開催中です。

開催時間：10 時～17 時
入場無料
場所：五十嵐威暢アーカイブ　金沢工業大学ライブラリーセンター２F

「ON THE GRID」展示・グラフィックデザイン：熊谷彰博
「ON THE GRID」ヴィジュアル撮影：小川真輝

https://igarashiarchive.jp/
※休館日は五十嵐威暢アーカイブウェブサイトからご確認ください

展示概要

企画展　「ON THE GRID」後期

前期（2025 年 4 月 28 日～8 月 31 日）では、空間に示したグリッドに従って展示を構成しました。格子状のガイドラインに沿って整然と並べられたことで、個性豊かな展示物も、どこか静かで抑制の効いた佇まいを見せていました。一方で、後期ではグリッドと展示物の相互作用を探りながら、展示台や展示物の配置に柔軟な変化を加えています。近づいたり、遠ざかったり、ときにしゃがんでみたり。視点を変えながら展示をさまざまに切り取って見てみましょう。ふとした角度から思いがけない構図や関係性が立ち現れるかもしれません。グリッドの制約を離れ、しなやかに広がる視覚のプレイグラウンドをお楽しみください。

常設展示「五十嵐威暢ー「環境」を求めて」

縄文の谷　2005 年

五十嵐威暢は多摩美術大学、UCLA（カリフォルニア大学ロサンゼルス校）にてグラフィックデザインを学びました。留学直前の 1966 年、五十嵐は松屋銀座で開催されていた「空間から環境へ」展を鑑賞し、大きな衝撃を受けたと言います。五十嵐が芸術家としての原体験に位置付けるこの展覧会は、絵画、彫刻、デザイン、建築から音楽まで、領域を横断した芸術家の集いによって企画されたものでした。作品と鑑賞者が動的に関係づけられる場としての「環境」を模索した彼らはその後、1970 年の日本万国博覧会でさまざまな実験を繰り広げることになりました。

この展覧会から五十嵐が受けた影響は、帰国後すぐに設立した会社の名前、EDI (Environmental Design International)にも見て取れます。1970 年代より盛んになる景観や公害の議論と並走するなかで、五十嵐は人々の生活と密接に結びついたデザインやアートの実践に取り組むことになりました。五十嵐の「環境」への意識は、建築や都市に展開されるグラフィックデザイン、作品が設置される場やそこに集う人々との関係を重視する彫刻作品へと結実します。平面と立体を自由に往来し、領域をも飛び越える五十嵐の芸術の数々。それを成し得た「環境」への意識を補助線に、五十嵐の歩みを概観します。

五十嵐威暢アーカイブ

金沢工業大学は、急速に変化する社会からの要請に応えるべく、これまで取り組んできた STEM 教育に「デザインとアート」を柱とした感性教育を融合すること、そしてその研究の充実と実践を行うことを目指しています。五十嵐威暢アーカイブは、そのための新たな学びの場として 2023 年にオープンしました。本施設には、彫刻家、デザイナーの五十嵐威暢氏から寄贈された 5000 点もの作品や資料が収蔵されています。多様なコレクションを活用した独自のプログラムを通じて、学生たちが独自の視点で世界を感受し、創造する力を引き出す活動を推進しています。

本件についてのお問い合わせ
金沢工業大学　五十嵐威暢アーカイブ　野見山桜、鯉沼晴悠　076 - 294 - 6904
igarashiarchive@kanazawa-it.ac.jp

金沢工業大学広報課長　下津竜之